

『ニューアクション β』 の使い方

《基礎力養成期での使い方》

『入試基本典型問題』とはどういうものかを知り、解法を覚えることを目標とし、各ページ下の「練習」を中心に演習する。

- **Quick Check** は、解かなくとも、見るだけで解法の見処がたてば良い。もし、解からないのがあれば教科書を見なおす。
- イルカ1つの例題のページは、先に「練習」を解く。答え合わせ後、**Action**、**Point** を読んでおく。
- イルカ2つの例題は、まず例題の解答・**Point** を熟読してから、「練習」を解き、答えあわせをする。
- イルカ3つの例題は、例題の解答・**Point** を熟読してから、例題の問題をノートに写し、テキストを閉じて解いてみる。解答と照らし合わせたのち、「練習」を解く。
- 「**Go Ahead**」・「**Play Back**」は、たいへんためになるので、読んでおこう！
- 「問題」・「**Let's Try**」で、間違っていた問題、途中で答えを見てしまった問題には、問題番号に×印を記入しておく。初見で解けた問題には、○印を記入し、学習計画表の該当番号を黒く塗りつぶす。
- ×印がついた問題は、何日か間を置いた後、必ず解き直すこと。
- 《基礎力養成期》においては、典型問題以外の「**Let's Try**」、「**Perfect Master**」、および「問題」は飛ばします。

《基礎力確認期での使い方》

『入試基本典型問題』の100%網羅、および、それらを、標準レベルの入試問題で使えるようになることを目標とする。

「Let's Try」を中心に演習する。『典型問題』が実際の入試問題では、どのように姿を変えて問われるのかを、「Let's Try」を演習することで知っておく。

- イルカ2つ以上の「問題」、および「Let's Try」を解く。
- 間違っている構わないから、何か書いてみること！
3分考えてみて全く手がでなければ、答えを熟読はせずに、最初の数行をチラッと眺めてから、解答してみる。
その後手が止まれば、また次の数行をチラッと見る、を繰り返す。
最後の答えまでたどり着いた段階で、解答を熟読し、
— ここが大切なのだが —
もう一度最初から解答を作成すること！

《応用力養成期での使い方》

やや難しい入試問題にも対応できるような、数学的思考法を身に付けることを目標とする。

- 「Perfect Master」を解く。